

## 「三省まつり」 来週にせまる

先週から始まった「三省まつり」に向けての話合いや準備、練習などの活動。一人一人が、「最後の三省まつりだから～したい。」という強い思いをもって取り組んでいることが伝わってきます。「～」の部分には、「地域や保護者の皆さんに対して」「中川小学校に対して」「自分や自分たちの未来に対して」など、決して一つではないけれども、強い思いが込められています。限られた時間を使って計画的に進め、徐々に「本番の形」が見えるようになってきました。登校後の朝の時間や休み時間を使って練習に励む子どもたちの姿も、そこそこに見られます。



さて、「子ども三省まつり」まで練習日はあと3日、「三省まつり」までは残すところ4日となりました。これまでの活動を土台に、残りわずかになった練習時間を有効に活用して、一人一人が充実感と達成感を味わえるように、そして、家庭や地域のみなさんに感謝の気持ちを伝えられるように、最後の最後の総仕上げに取り組めるよう働きかけていきたいと思います。

## うちどく ～『家族で読書』カードより～

- 「ソラネコぐんだんパンこうじょう」をよみました。パンがいっぱいでできて、おいしそうでした。  
【子どもが読んでくれました。ネコたちが奮闘するコミカルなお話でした。】  
1年 A.Kさん
- 私は、「占い屋しきと消えた夢ノート」を読みました。占い屋しきに住んでいる真生は、平三郎というおじさんが来て、宙と颯太といっしょに夢ノートをさがすので、とてもおもしろかったです。  
【主人公の「誰かを喜ばせる人になる」という言葉は、ステキな言葉だなと思いました。】  
5年 T.Mさん
- 「ふうとはなとたんぼぼ」を読みました。「『たんぼぼぼぼぼ、ぼぼぼ。』（のじゅもんで）ふうは、風になりました。はなは、わたげになりました。」のところが、風をいっぱいあびてきもちよさそうだと思いました。  
【楽しかった体験から、自分たちの名前にこめられた意味を知ります。保育園の時に、娘とも話をしたことを思い出しました。】  
2年 T.Hさん
- 私は、「わんわん探偵団」という本を読みました。この本は、ミステリー編と解決編に分けて書かれてあったので、どんな方法で解決するのかなとドキドキしながら読みました。いろんな事件を犬と主人公のスピッツかわいが、次々と手がかりを見つけていくのがおもしろかったです。犬たちやスピッツかわいの動きを見て考えるのもおもしろかったです。  
【とても犬はかしこくて、人間にとっては家族同様に接する時代です。飼い主も犬のしつけがちゃんとできているので、この本の事件を解決できましたね。頭のいい犬はすごいと思いました。たくさんの犬を飼って、うらやましい気持ちにもなりました。】  
6年 T.Mさん
- 「危険生物」を読みました。世界にはいろんな危険生物がいることが分かりました。動物は、いろんなことができることが分かりました。  
【いろいろな動物の生態が書かれていて勉強になりました。身近にも注意しなければいけない虫などがいるので、気を付けたいと思います。】  
3年 W.Hさん
- 「メロディ」というお話を読んで、発表会の前にも何度もれんしゅうをしたところが、やる気があるなあと思いました。  
【家でも、物がたくさん増えて、物を大事にしなくなる子ども。改めて「物は大切に」と教えていこうと思いました。】  
4年 O.Sさん



次号でもご紹介します。

## 児童質問紙から見えてくること・お願い

前号、前々号に続き、今回は「児童質問紙の結果から見えてくることについてまとめてみました。

### ○全国・全県の平均よりも12～15ポイント高かった項目

#### ①文章をしっかりと読もうとしている（+14.45%）

⇒設問「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落同士の関係を考えながら読んでいる」

#### ②失敗を恐れなくて挑戦している（+14.20%）

⇒設問「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」

#### ③学校生活をよくするために、みんなで話し合っ解決している（+13.5%）

⇒設問「あなたの学級では、学校生活をよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う」

#### ④国語の時間に学習したことを、ふだんの生活で生かしている（+12.75%）

⇒設問「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている」

### ○全国・全県の平均よりも15～20ポイント高かった項目

#### ⑤地域をよくするために、何をすればいいかを考えている（+19.95%）

⇒設問「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」

#### ⑥（学習全般で）自分の考えが伝わるように工夫して発表している（+18.85%）

⇒設問「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う」

#### ⑦総合的な学習の時間では、自分の力でしっかりと取り組んでいる（+16.50%）

⇒設問「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどという学習活動に取り組んでいると思う」

#### ⑧国語の授業で、自分の考えが伝わるよう、理由を示すなどの工夫をしている（+16.35%）

⇒設問「国語の授業で、自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫している」

これらの結果から、前向きな回答が多いこと、全国・全県平均と比較して数値が高い項目が見られることなどが分かります。また、100%回答が多かった中でも、次の回答が高評価だったことは、とてもよい傾向だと思えます。

「⑨算数の授業で新しい問題に出会ったときに、それを解いてみたいと思う」

「⑩人が困っているときは、進んで助けている」

「⑪将来の夢や目標を持っている」

「⑫物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある」

「⑬いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」

中川地域の皆さんに支えられてきた6年生をはじめ、中川っ子は、角館小との交流等をはじめ、外の世界との交流も相まって、徐々にたくましさを増しています。昨年度の2月の全校集会の時には、多くの「不安だった子どもたち」も、交流活動を通じて、「できる！」という手応えを感じています。

ここで、保護者と地域の皆様へのお願いを一つ致します。子どもたちに、是非、次の一言を与え続けていただきたいのです。「おめは、できる。大丈夫だよ。」「心配なことは、全部喋ってみれ。俺たち（父母）と先生方に。おめだじの元気な姿が、中川のみんなの力になっているよ！」と。

これまでの「成長」を、子どもたちと保護者の皆さん、地域の方々、教職員で再確認できる「三省まつり」を実感していただけたら最高の喜びです。

次号では、今回も大きな課題としてあげられた「読書活動」について、資料を基に皆さんと考えてみたいと思います。

